

完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付: 2023年4月10日

事業ID: 2022003663

事業名: 香川県丸亀市における「子ども第三の居場所」(B) 常設ケアモデルの運営(2年目)

団体名: (公財)丸亀市福祉事業団

代表者名: 理事長 植村 利克 印

TEL: 0877-23-1091

事業完了日: 2023年3月31日

■契約時

事業費総額	:	21,260,000 円
自己負担額	:	0 円
助成金額	:	21,260,000 円

■箇所は【フォーム】収支計算書より自動転記

■事業完了時

事業費総額	:	14,019,796 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	796 円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	:	14,019,000 円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	:	7,241,000 円	(収支計算書の青のセルの値)

1.事業内容

助成契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。

なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

■事業内容1

(1)助成契約書記載の事業内容(予定)

1. 香川県丸亀市における「子ども第三の居場所」(B)の運営
 (1)期間: 2022年4月~2023年3月(週5日、14時から21時まで開所)
 (2)場所: 香川県丸亀市
 (3)対象: 課題を抱えた小学校低学年を中心に20名
 (4)内容: 「子ども第三の居場所」をつくり、子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完する。



(2)事業完了時の事業内容(実績)

1. 香川県丸亀市における「子ども第三の居場所」(B)の運営
 (1)期間: 2022年4月~2023年3月(週5日、14時から21時まで開所)
 (2)場所: 香川県丸亀市
 (3)対象: 課題を抱えた小学校低学年を中心に12名
 (4)内容: 「子ども第三の居場所」をつくり、子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援した。少しづつですが、生活習慣は自発的に、学習意欲についても着実に向上しています。

(3)成功したこととその要因

事業を実施し成功したこと、その理由を記載してください。
生活習慣形成や学ぶ意欲向上については自主性を尊重、比較しないで褒める等、コミュニケーションをとり続け、両方とも着実に向上している。

(4)失敗したこととその要因

契約時に予定したとおりに事業を実施できなかった場合は、実施できなかった理由を記載してください。
学校等関係者には認知度もアップしているが、保護者や児童は校区外の交流について躊躇している。
コロナ禍で学童利用者も減少傾向で、児童集めに影響している。

(5)事業内容詳細

上記「(2)事業完了時の事業内容(実績)」の詳細について、ご記載ください。別途報告書を作成されている場合は、それを添付いただければ省略可能です。

■事業内容2

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

■事業内容3

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

■事業内容4

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



--	--

(3)成功したこととその要因

--

(4)失敗したこととその要因

--

(5)事業内容詳細

--

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)助成契約書記載の目標

助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の目標欄の内容を転記してください。

1. 拠点利用児童の募集(2023年3月末時点で20人とする)
2. 児童への居場所、食事、生活習慣支援、学習支援などの安定的な供給
3. ボランティア等の地域住民や、行政、学校との関係構築
4. 子どもの「経験の不足」を解消するようなイベントを事業期間内に5回実施する

(2)目標の達成状況【700文字以内】

入力文字数	489	文字数チェック	OK
事業完了後の目標達成状況を700文字以内で明記してください。 ※目標を複数設定している場合は、各目標ごとの達成状況を個別に記入してください。			
1. 拠点利用児童の募集については2023年3月末時点で12人です。 2. 児童への居場所、食事、生活習慣支援、学習支援などの安定的な供給については達成しています。 3. ボランティア等の地域住民や、行政、学校との関係構築については民生委員、コミュニティーセンター、児童相談所、丸亀市子育て支援課・教育委員会、小学校との関係構築は達成しています。 4. 子どもの「経験の不足」を解消するようなイベントを事業期間内に5回実施するについては下記のとおり。 ①パン作り体験8月29日 ②遠足(レオマワールド)10月17日 ③ハロウィンパーティー10月31日 ④クリスマス工作12月9日、クリスマスディナー12月16日、クリスマス会12月20日 ⑤キャンプ体験&バーベキュー12月26日 ⑥遠足(愛媛県総合科学博物館)12月27日 ⑦遠足(高知県立のいち動物園)1月6日 ⑧遠足(がっこうのいちご園)3月29日			

3.事業実施によって得られた成果

事業完了後、事業成果が実現するまでにある程度の時間を要する場合、実現すると見込まれる事業成果は「****年**月頃に****が****になっていると見込まれる」のかを記載して下さい。
複数年計画がある場合、複数年計画の「****年**月頃に****が****になっていることを目指す」のかを、最終目標(中長期目標)として記載して下さい。
施設や機器整備した場合、整備した数年後に見込まれる成果(例えば2年後、3年後)を設定し、「****年**月頃に****が****になっていると見込まれる」かを、中長期目標として記載して下さい。
2023年7月末には利用児童が15名になっていると見込まれる。
2023年9月末には利用児童が18名になっていると見込まれる。
2024年3月末には利用児童が20名になっていると見込まれる。

4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

現在、利用している小学校校区以外の小学校から利用相談が少ない。
今年度、2校から新規利用者が出ています。学校とのコミュニケーションが増えて認知度もアップしてきました。
更に利用者が増えるように学校と関りを深めて利用促進に繋げていきます。

5.事業成果物

(1)助成契約書記載の成果物名称

助成契約書記載の成果物名称を転記してください。
子どもの「経験の不足」を解消するようなイベントの写真



(2)事業完了時の成果物名称

実際に作成した成果物の名称を記載してください。
※チラシ、ポスター等の印刷物については
作成枚数を追記いただけますようお願いいたします。
事業報告

(3)未作成となった要因

契約時の事業成果物で作成していないものがある場合は理由を記載してください。

(4)成果物を登録したウェブサイトのURL

成果物の登録方法については、こちらをご確認ください→ https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2019/03/gra_gui_01-1.pdf（なお、事情により、公開が困難な成果物に関しては、表紙のアップロードをお願いいたします。）

上記で登録したURLをご記載ください。





